

第 16 回伊那市誌編さん委員会議事録

開催日時	令和 6 年 6 月 5 日（水） 13 時 30 分～16 時 15 分
場 所	伊那市役所 501 会議室
出席者	編さん委員：14名（欠席 6 名） 事務局：教育長、教育次長、室長、担当
会議目的	組見本・執筆マニュアル及び原稿の流れについての意見交換

【報告事項】

1 新年度の事務局体制について

- ・ 4 月から市誌編さん室の職員を 1 名増員。事務局の中で各部会の担当を決め、部会へ出席し、原稿や資料のやり取りを行っていく。（事務局）

【会議内容】

1 組見本及び執筆マニュアルについて

<検討課題>

- ・ 執筆マニュアルについて、節・見出しは 3 行取り、小見出しは 2 行取りとなる。コラムは段ぶち抜きにしてあるが、呼称やデザインは今後検討していく。（事務局）
- ・ 数行で収まる用語解説は、ページの下段に解説文を入れ、本文中にアスタリスク（*）を付ける。数行で収まらない解説は、本文中に枠で囲み記していく。（事務局）
- ・ できるだけマニュアルに沿う形で入稿すれば、間違いも少なくなり、校正も楽になる。（委員長）
- ・ 組見本では、小見出し①の前が 1 行空いているが、空ける必要があるのか。（委員）
- ・ 見出し等の行取りを減らしたり、文字の色の付け方によって本文のスペースを確保できるのはいいか。ルビが小さく読みにくいので、もう少し大きくできないか。（委員）
- ・ 釣り見出しを使えば若干スペースを稼ぐことができるので、使用を検討してもよいか。その他、写真が余白にはみ出すことを許容するなど、柔軟な発想で編集していきたい。（副委員長）
- ・ アスタリスクを本文中に付ける位置は、ルビと同じように文字の上に付ければよいか。図表番号は節との関連が分かった方がよいので、「図 3」ではなく、節番号を付けて「図 1 - 3」とした方がよいか。（委員）
- ・ 組見本には赤文字で「3 行取り」「中央揃え」等の注意書きを入れてほしい。（副委員長）
- ・ 年号の表記は「西暦（和暦）年」を原則としているが、編や時代によっては、西暦のみ、和暦のみで表記することがあってもよいか。そのことは凡例で記しておけばよい。（副委員長、委員）
- ・ コラムの文体は「ですます調」とするが、コラムのネーミングについては別途検討していく。（委員長）
- ・ 執筆マニュアルについて、部会ごとに判断してよいことを検討してほしい。（委員）
- ・ 編ごとに編集を行い、それを尊重していくが、課題がある場合は、統括会で検討し、部会長会や編

さん委員会に示していくことになる。(委員長)

<決定事項>

- ・ A 4 版、横書き、2 段組みで、1 段 20 字、36 行を基本とする。(委員長、事務局)
- ・ 章は 1 ページ割いて扉扱いとし、裏のページは空けずに 1 ページ目とする。本文とコラムは「ですます調」、解説は「である調」とする。漢字に付けるルビは、節の初出のみとする。2 桁以上の数字は半角、1 桁の場合は全角を原則とする。4 桁以上の数字にはカンマ (,) を付け、必要に応じて「億」「万」を入れる。数量の単位は、記号を優先する。(事務局)
- ・ 年号の表記は「西暦 (和暦) 年」を原則としているが、全ての編で統一するのは無理がある。統括会、事務局と各部会で調整していく。(委員長)
- ・ 委員会で出された意見・要望 (行取り、釣り見出し、スペース、色、ルビ等) を(株)ぎょうせいに伝えて複数の組見本の作成を依頼し、6 月 28 日の部会長会に出席してもらう。(委員長)

2 原稿の流れについて

<検討課題>

- ・ 部会と事務局との原稿や資料のやり取りは、メールが簡便であるが、データの容量が大きいと受け取りができない。現在、やり取りの方法について市の情報を管理する部署と協議している。〇〇メール便のようなシステムを利用することも考えられるが、市のネットワーク管理上の安全性を最優先しなければならないので、きちんとしたルールを作っていきたい。(事務局)
- ・ 入稿は節単位でよいが、全体を見るためには章単位の方がチェックしやすい。(委員長)
- ・ 監修者がいない中で最終校正は誰が行うのか。(委員)
- 最終校正の責任は、統括会や編さん委員会を設置している市ということになる。(委員長)
- ・ 原稿に入れる写真には 3 種類あるのではないか。一つ目は委員自らが撮影した写真。二つ目は書籍等に掲載されている写真。この場合、著作権の関係などがあるので、具体的な情報を事務局へ知らせてほしい。三つ目は全く当ての無い写真。これについては、市報に掲載されたもの、市で撮影したものを編さん室で整理しているので、探している写真があれば問い合わせしてほしい。(事務局)
- ・ ドローンでの撮影等、撮影自体を依頼した場合はどうなるのか。(委員長)
- 経費がかかるので協議が必要になるが、できるだけ希望に沿えるようにしたい。(事務局)

<決定事項>

- ・ 執筆原稿は統括会と事務局で確認し、修正箇所等がある場合は部会に返して検討してもらう。修正済みの原稿は事務局から(株)ぎょうせいに提出し、編集作業が行われる。編集済みの原稿は部会と統括会でチェックしてもらう。編集済みの原稿を再び(株)ぎょうせいに戻す際には、写真を添付する。(株)ぎょうせいはそれを基に版を組みゲラを作成する。ゲラが戻ってきたところで、各部会では初校、再校、3 校、色校と順次校正を行い、(株)ぎょうせいで印刷・製本し、納品、発刊となる。(事務局)

3 各編の編さんに関し留意したいことについて

<検討課題> *副委員長提案

- ・ 各編の全体構成：表紙や扉となる章のデザインをどうするか。各編の口絵に載せる写真は、ダブリが予想されるので早い段階で一覧化しておきたい。初年度に 4 冊刊行となるが、各巻の巻頭言をど

うするか。全体に関わる凡例を1ページ割くことになるが、編独自のものがあれば、そこに付け加えればよい。

- ・内容について：各編の項目を7月中旬くらいに提出してもらい、全体像がわかるようにしていく必要がある。コラムの扱いも検討しておきたい。
- ・写真及び地図について：市や関係機関で提供できる写真の一覧を出してほしい。地図は、歴史館が所蔵する古地図や国土地理院の地図もある。基本図は柵ぎょうせいが作成することになっている。
- ・項目のダブリについて：ダブリは構わないが、各編の内容に沿った記述をしたい。部会間でも情報交換を行い、共有していきたい。
- ・概説編①の地区誌について：各地区の担当者は項目を整理して素案の作成をお願いしたい。
- ・感染症について：感染症については、『感染症とその対応に学ぶ—新型コロナウイルスを中心に—』と題して、1冊にまとめていきたい。第4章では、諸団体に依頼して市民の手記を載せていきたい。

<決定事項>

- ・各編の全体構成については、委員長預かりとし、後日委員会で報告したい。(委員長)

4 各部会の進捗状況について

<検討課題> *事務局説明

〈概説〉①『鳥瞰してみよう』では、各編と重複する項目があるが、各編における記述の観点を確認し、調整していきたい。②『なりたち』でも原稿の確認を始めている。

〈自然〉部会独自のスケジュールに沿って原稿確認を進めている。自然編は1冊にまとめる予定であったが、必要ページ数が増えていく中で、2冊にまとめる方向で検討を行っている。

〈政治行政〉①『合併』について、原稿の内容確認、修正を行っている。

〈産業経済〉項目の担当を決め、一部原稿確認を始めている。

〈社会〉③『感染症』については、コロナを中心に1冊に編集していく。①『交通・運輸』と②『地域共生社会』については、2冊を1冊にまとめる方向で調整している。

〈教育〉①『学校教育』については、学校から資料を借用し、協力員の協力を得ながら調査を進めている。補足的なアンケートの実施も検討している。

〈文化〉①『地名』について、原稿の内容確認を行っている。②『文化財』についても原稿の確認を始めている。③『伊那市の文化』については、項目の検討を進めている。

〈民俗〉どういう体制で聞き取り調査を行い、まとめていくのか、事務局でも検討している。

〈年表〉年表に関わって、デジタル化による資料の保存と活用を検討していく。資料の保存は市誌に限られることではないので、市として考えていく必要があるという意見をもらっている。

- ・民俗部会は1年以上部会が開けておらず、困っている。(委員)
協力員の体制が十分でない中で、どういう形で聞き取り調査ができるのか。また、民俗編をどういうものにしていくのかという考え方が、部会と事務局でまとまりがつかない。早急に統括会と事務局で下案を作り、部会へ示していきたい。(委員長、事務局)

- ・年表部会で考えているデジタル化については、市全体の事業として取り組むことを編さん委員会から提案していきたい。今後、部会で基本方針を検討し、委員会での決定を受けて進めていきたい。
(委員)
- ・民俗部会のように困っている案件がある場合、統括会がしっかり把握して考え方や方向性を示してほしい。場合によっては、教育長や市長に相談、要望するなどしてほしい。(委員)

<決定事項>

- ・デジタル化については、年表部会で検討した基本方針を編さん委員会で確認し、市へ提案していく。
(委員長)

【その他】

1 次回（第17回）編さん委員会の日程について

期日は未定であるが、8月初旬の開催を予定。

2 広報について

現在、いなチャンネル、広報誌「いなしる」、ホームページで市誌編さん事業について紹介している。いなチャンネルでは、自然編のビューポイントを紹介した。今後、他部会へも依頼していきたい。